

水痘ワクチン

水痘（みずぼうそう）を予防します→水痘（みずぼうそう）

スケジュール

1回目：生後12か月から15か月

2回目：1回目終了後3か月以降

水痘（みずぼうそう）は水痘帯状疱疹ウイルスの初感染によっておこる病気で、空気感染のため感染力が非常に強いのが特徴です。約2週間（～3週間）の潜伏期を経て発疹、38℃程度の発熱で発症します。発疹は数ミリの丘疹（ぷっくりした発疹）→水疱（水ぶくれ）→かさぶたと変化していきます。発熱はないこともありますし、まれに高熱が出ることもあります。

2回目の接種は1回目から3か月あいていればできますが、6か月あけた方が抗体は少しできやすいようです。1回だけでも効果はありますが10～20%ぐらいの人がかかってしまいます（症状は軽くなります）ので必ず2回接種してください。

1歳になったら水痘、MRワクチン、Hibワクチン（3回目から7か月あけて）、肺炎球菌ワクチン（3回目から60日あけて）、おたふくワクチン（任意接種＝自費）ができます。できるだけ同時接種をお勧めします。

緊急回避

水痘の患者さんと接触した場合72時間以内にワクチン接種をすると発症を阻止することができます。（水痘は発症する1,2日前から感染力があるので家族が発症したときは本人の発症を阻止できないこともあります。）

副反応

接種後2～3週間後に発熱や発疹が出現することがあります。